

知的創造(2.2.2) A.研究・開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する先願特許(出願中のものを含む)の情報を収集/分析し、その侵害を回避する研究・開発の企画/実施(ラポノートの作成を含む)/評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略(例:特許群の形成、標準化戦略)に従って高品質な特許の権利確保を積極的に推進した(例:複数のメンバが所属する研究開発プロジェクトのマネジメント、発表論文やプレゼン資料等の研究開発成果物の事前チェック)。
3. 自己の研究・開発担当分野について発明発掘会議の企画/実施/評価を成功裡に行った。
4. 特定の研究・開発テーマについて、標準化戦略の立案を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 研究・開発業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限等、外国法と日本法との差異)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 研究・開発に関する実務(例:先願特許、特許法の新規性・進歩性に関する審査基準、創造技法、社内の発明評価基準、知財部・特許事務所の役割)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

研究・開発関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:英語の特許文献)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる(例:発明の本質に導いてくための論理的な議論ができる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) A.研究・開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する先願特許(出願中のものを含む)の情報を収集／分析し、その侵害を回避する研究・開発の企画／実施(ラポノートの作成を含む)／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略(例:特許群の形成、標準化戦略)に従って高品質な特許の権利確保を積極的に推進した(例:複数のメンバが所属する研究開発プロジェクトのマネジメント、発表論文やプレゼン資料等の研究開発成果物の事前チェック)。
3. 自己の研究・開発担当分野について発明発掘会議の企画／実施／評価を成功裡に行った。
4. 特定の研究・開発テーマについて、標準化戦略の立案を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 研究・開発業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限等、外国法と日本法との差異)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 研究・開発に関する実務(例:先願特許、特許法の新規性・進歩性に関する審査基準、創造技法、社内の発明評価基準、知財部・特許事務所の役割)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

研究・開発関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:英語の特許文献)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる(例:発明の本質に導いてくための論理的な議論ができる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) A.研究・開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する先願特許(出願中のものを含む)の情報を収集／分析し、その侵害を回避する研究・開発の企画／実施(ラポノートの作成を含む)／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略(例:特許群の形成、標準化戦略)に従って高品質な特許の権利確保を積極的に推進した(例:複数のメンバが所属する研究開発プロジェクトのマネジメント、発表論文やプレゼン資料等の研究開発成果物の事前チェック)。
3. 自己の研究・開発担当分野について発明発掘会議の企画／実施／評価を成功裡に行った。
4. 特定の研究・開発テーマについて、標準化戦略の立案を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避する製品(サービス)を研究・開発した、発明発掘会議において戦略上重要な特許を抽出した、社内外の知的財産を応用して新規に研究・開発プロジェクトを立ち上げた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 研究・開発業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限等、外国法と日本法との差異)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 研究・開発に関する実務(例:先願特許、特許法の新規性・進歩性に関する審査基準、創造技法、社内の発明評価基準、知財部・特許事務所の役割)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

研究・開発関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:英語の特許文献)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる(例:発明の本質に導いてくための論理的な議論ができる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) A.研究・開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する先願特許(出願中のものを含む)の情報を収集／分析し、その侵害を回避する研究・開発の企画／実施(ラボノートの作成を含む)／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略(例:特許群の形成、標準化戦略)に従って高品質な特許の権利確保を積極的に推進した(例:複数のメンバが所属する研究開発プロジェクトのマネジメント、発表論文やプレゼン資料等の研究開発成果物の事前チェック)。
3. 自己の研究・開発担当分野について発明発掘会議の企画／実施／評価を成功裡に行った。
4. 特定の研究・開発テーマについて、標準化戦略の立案を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避する製品(サービス)を研究・開発した、発明発掘会議において戦略上重要な特許を抽出した、社内外の知的財産を応用して新規に研究・開発プロジェクトを立ち上げた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 研究・開発業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限等、外国法と日本法との差異)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 研究・開発に関する実務(例:先願特許、特許法の新規性・進歩性に関する審査基準、創造技法、社内の発明評価基準、知財部・特許事務所の役割)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

研究・開発関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:英語の特許文献)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる(例:発明の本質に導いてくための論理的な議論ができる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) A.研究・開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する先願特許(出願中のものを含む)の情報を収集／分析し、その侵害を回避する研究・開発の企画／実施(ラポノートの作成を含む)／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略(例:特許群の形成、標準化戦略)に従って高品質な特許の権利確保を積極的に推進した(例:複数のメンバが所属する研究開発プロジェクトのマネジメント、発表論文やプレゼン資料等の研究開発成果物の事前チェック)。
3. 自己の研究・開発担当分野について発明発掘会議の企画／実施／評価を成功裡に行った。
4. 特定の研究・開発テーマについて、標準化戦略の立案を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避する製品(サービス)を研究・開発した、発明発掘会議において戦略上重要な特許を抽出した、社内外の知的財産を応用して新規に研究・開発プロジェクトを立ち上げた)。
[必須]
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 研究・開発業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限等、外国法と日本法との差異)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 研究・開発に関する実務(例:先願特許、特許法の新規性・進歩性に関する審査基準、創造技法、社内の発明評価基準、知財部・特許事務所の役割)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

研究・開発関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:英語の特許文献)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる(例:発明の本質に導いてくための論理的な議論ができる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2. 2. 2) B.デザイン開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当するデザイン分野に関する先願意匠権に関する情報を収集/分析し、その侵害を回避するデザイン開発の企画/実施/評価を成功裡に行った。
2. 自社の意匠出願戦略(例:部分意匠出願戦略、関連意匠出願戦略)に従って高品質な意匠の権利確保を積極的に推進した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. デザイン開発業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. デザイン開発に関する実務(例:先願意匠, 部分意匠・関連意匠, 審査基準)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2. 2. 2) B.デザイン開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当するデザイン分野に関する先願意匠権に関する情報を収集／分析し、その侵害を回避するデザイン開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の意匠出願戦略(例:部分意匠出願戦略、関連意匠出願戦略)に従って高品質な意匠の権利確保を積極的に推進した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. デザイン開発業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. デザイン開発に関する実務(例:先願意匠、部分意匠・関連意匠、審査基準)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2. 2. 2) B.デザイン開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当するデザイン分野に関する先願意匠権に関する情報を収集／分析し、その侵害を回避するデザイン開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の意匠出願戦略(例:部分意匠出願戦略、関連意匠出願戦略)に従って高品質な意匠の権利確保を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避するデザインを開発した)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. デザイン開発業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. デザイン開発に関する実務(例:先願意匠、部分意匠・関連意匠、審査基準)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2. 2. 2) B.デザイン開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当するデザイン分野に関する先願意匠権に関する情報を収集／分析し、その侵害を回避するデザイン開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の意匠出願戦略(例:部分意匠出願戦略、関連意匠出願戦略)に従って高品質な意匠の権利確保を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避するデザインを開発した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. デザイン開発業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. デザイン開発に関する実務(例:先願意匠, 部分意匠・関連意匠, 審査基準)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) B.デザイン開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当するデザイン分野に関する先願意匠権に関する情報を収集／分析し、その侵害を回避するデザイン開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の意匠出願戦略(例:部分意匠出願戦略、関連意匠出願戦略)に従って高品質な意匠の権利確保を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避するデザインを開発した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. デザイン開発業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. デザイン開発に関する実務(例:先願意匠, 部分意匠・関連意匠, 審査基準)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) C.コンテンツ開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に沿って、自己の制作担当分野に関する他者の権利(例:著作権, 肖像権, プライバシー権, パブリシティ権, 特許権等)の侵害を回避するコンテンツ開発の企画/実施/評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に従って高品質なコンテンツ開発を積極的に推進した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. コンテンツ開発業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. コンテンツ開発に関する実務の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

コンテンツ開発関連業務に必要な技術(例:デジタル著作権管理技術)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:コンテンツ)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:プロデューサー/弁護士/公認会計士)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:プロデューサー/弁護士/公認会計士)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) C.コンテンツ開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に沿って、自己の制作担当分野に関する他者の権利(例:著作権, 肖像権, プライバシー権, パブリシティ権, 特許権等)の侵害を回避するコンテンツ開発の企画/実施/評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に従って高品質なコンテンツ開発を積極的に推進した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導/助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. コンテンツ開発業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. コンテンツ開発に関する実務の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

コンテンツ開発関連業務に必要な技術(例:デジタル著作権管理技術)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:コンテンツ)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:プロデューサー/弁護士/公認会計士)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:プロデューサー/弁護士/公認会計士)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) C.コンテンツ開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に沿って、自己の制作担当分野に関する他者の権利(例:著作権, 肖像権, プライバシー権, パブリシティ権, 特許権等)の侵害を回避するコンテンツ開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に従って高品質なコンテンツ開発を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された。[必須]
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツ／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. コンテンツ開発業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. コンテンツ開発に関する実務の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

コンテンツ開発関連業務に必要な技術(例:デジタル著作権管理技術)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:コンテンツ)を概ね(例:60～70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) C.コンテンツ開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に沿って、自己の制作担当分野に関する他者の権利(例:著作権, 肖像権, プライバシー権, パブリシティ権, 特許権等)の侵害を回避するコンテンツ開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。

2. 自社の知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に従って高品質なコンテンツ開発を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された。〔必須〕
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツ／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. コンテンツ開発業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. コンテンツ開発に関する実務の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

コンテンツ開発関連業務に必要な技術(例:デジタル著作権管理技術)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:コンテンツ)を正しく(例:80%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) C.コンテンツ開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に沿って、自己の制作担当分野に関する他者の権利(例:著作権, 肖像権, プライバシー権, パブリシティ権, 特許権等)の侵害を回避するコンテンツ開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に従って高品質なコンテンツ開発を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された。〔必須〕
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツ／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. コンテンツ開発業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. コンテンツ開発に関する実務の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

コンテンツ開発関連業務に必要な技術(例:デジタル著作権管理技術)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:コンテンツ)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。